## 知的財産交流事業(川崎モデル)における 知財紹介について

#### エネルギア総合研究所(知財) 吾郷 誠二



当社は、平成27年2月、エネルギア総合研究所内に事業発掘・支援WGを設置し、市場分析・評価を踏まえたビジネスモデル・アライアンスの構築による事業化と異業種交流等を通じた共同開発や新規事業展開の実現を支援するとともに、既得成果の活用についても積極的に推進している。

その一環として、自治体および金融機関が主催する知的財産交流事業(川崎モデル)に参加し、当社の知財紹介を行う取り組みを行っている。

# 2

### 知的財産交流事業 (川崎モデル) の概要

川崎市では、大企業の知的財産を中小企業に紹介し、自社製品開発等を支援する知的財産交流事業が、全国に先駆けて実施されており、数多くの成果が生まれ、「川崎モデル」として、国や他の自治体から注目されている。

この取り組みは、国の補助事業(中小企業知的財産活動支援事業費補助金)として採択され、「川崎モデル」の知財交流支援を全国に広げる事業が実施されている。

全国の大企業および中小企業等とのネットワーク を広げ、中小企業のビジネスチャンスを拡大すると ともに、国内モノづくり産業を活性化することを目 的に、「金融機関と連携した知財マッチング支援」、 「他の自治体と連携した知財交流支援」等の取り組 みが行われている。

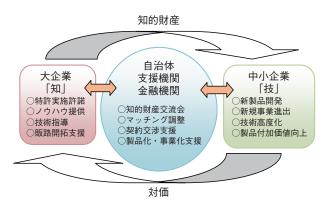


図1 知的財産交流事業のスキーム (※川崎市報道発表資料)

## 3

#### これまでの当社の取り組みについて

#### (1) 自治体主催の知財交流事業への参加

自治体主催の知財交流事業に参加し、当社特許の中から、他業種で活用が期待でき、汎用性のある特許を5件程度抽出し、知財紹介を行った。(「毛状体走行ロボット」、「待ち時間予測システム」、「条例改正通知システム」等)

また、知財紹介の後、事前に相談を希望された企業と、活用先のニーズや製品化の可能性等について、個別相談会を実施した。

これまでの参加実績は以下のとおりである。

- ・「平成27年度かわさき知的財産シンポジウム」 (平成27年7月,川崎市、参加企業70社)
- ・「知的財産交流事業(川崎モデル)フォーラム」 (平成27年9月、川崎市、参加企業30社)
- ・「知財ビジネスマッチング会inとっとり」 (平成27年9月,鳥取市,参加企業43社)
- ・「ふくおか知財マッチングin北九州」 (平成28年1月,北九州市,参加企業61社)
- ·「川崎モデル知的財産交流会in富士宮」 (平成28年3月,富士宮市,参加企業39社)



写真1 当社の知財紹介



写真2 参加企業との個別相談会

#### (2) 金融機関主催のセミナーへの参加

地元金融機関において、中小企業の自社製品開発 による事業展開を促進する取り組みが行われてお り、当社は、金融機関と連携をとり、当社特許を地 元企業へ紹介し、製品開発、地域活性化等につなげ ていくよう取り組んでいる。

平成28年2月,広島信用金庫主催「オープン・イ ノベーションセミナー」に参加し、当社特許から抽 出した20件について、プレゼンテーションおよびパ ネル展示を行った。(「ガスハイドレートを利用した 冷菓」、「毛状体走行ロボット」、「屋上緑化システム」 等)(参加企業54社)



図2 セミナー案内



写真3 会場の様子

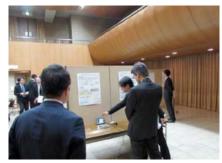


写真4 パネル展示

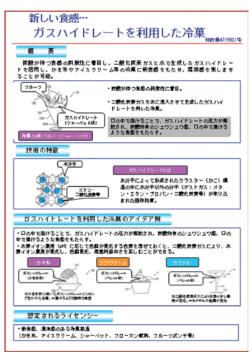


図3 紹介案件の例 (パネル展示) (「ガスハイドレートを利用した冷菓」)



### 紹介案件に対する今後の取り組みについて

上述の知財交流事業において、個別相談会を実施し た企業との間で、現在継続して、活用先のニーズや製 品化の可能性等を協議している。

今後、関係先と連携・調整をとり、特許のライセン ス契約、製品化等につながるよう取り組んでいく。 協議中の主な案件は以下のとおりである。

- ・「伐採用切断具」
- 「屋上緑化システム」
- 「切創防止プロテクタ」「十嚢袋」
- ・「ガスハイドレートを利用した冷菓」
- ・「毛状体走行ロボット」



本取り組みを通じて、当社特許の有効活用を図ると ともに、地域社会の発展、産業の活性化に貢献したい と考えている。

現在、経営企画部門(地域協力グループ)および各 支社と協力し、中国経済産業局や各県等と連携を取り ながら、知財交流事業の中国地域への展開に向けた取 り組みを積極的に行っている。